

平成28年度保連協対市懇談会議事録

会議	平成 28 年度 保連協懇談会	
日時	2016 年 10 月 29 日（土）9:30 - 11:30	
場所	田無庁舎 5 階 502、503 会議室	
参加者	保 育 課	子育て支援部長 保育課長、主幹、係長、 事業調整係長
	園 長 先 生	芝久保保育園長、こまどり保育園長、向台保育園長、 西原保育園長、すみよし保育園長、はこべら保育園長、 ひばりが丘保育園長、けやき保育園長、なかまち保育園長、 ひがし保育園長、やぎさわ保育園長
	保 連 協	会長、副会長、事務局員 4 名 他 保連協加盟保育園保護者 27 名

1. 保連協より開始の挨拶

今年度もこのような懇談会を開催する事ができ、この場をお借りして日ごろ保連協活動へのご理解、ご協力を頂いている皆さまに感謝申し上げます。今日はよろしく願います。（保連協会長）

3 年前自分が会長を務めていた際、本会の名称は「対市交渉会」で、主に要望を交渉するといった姿勢の会であった。2 年前より「対市懇談会」に改めて現在に至っているが、保連協としても要望ばかりではなく、園の運営に際し日ごろ困っていること、保護者に協力を求める事などを柔軟に受け入れ、お互いにより良い保育園運営のために協力を惜しまない関係を築いて行ければと考えている。本日はそのような意見交換も行いたいと考えているのでよろしく願います。（保連協副会長）

2. 子育て支援部より挨拶

今年度の待機児童は 154 名で、昨年より若干増加しているが、待機児童対策の予算を多く組み、施設増加を進めている。支出に関しては西東京市目標 43%だが、都の目標は 50%ということで、さらなる支出増が見込まれる。予測も難しいが計画的に整備を進めていきたい。（子育て支援部長）

3. 「市内保育園及び近隣環境に対する意見への回答」内容に基づく意見交換

1-（1）小規模保育の整備について

小規模保育が増えているのは実感しているが、3 歳以降の保育施設入所が可能かを心配する意見が多い。その後の入所状況の実績等を伺いたい。（保連協会長）

前年実績では対象児 36 名全員が、保育園や幼稚園に進むことが出来ている。小規模保育は連携施設を持つ決まりとなっているが、連携のあり方を子ども子育て審議会の専門部会でどういった連携をできるのかも含めて検討を進めている。特定の施設が受け皿の連携施設とまでは至っていないが、今後審議していく形となる。全年度においてはどこにも入れなかったという実績はなく、0 - 2 歳児の地域型保育施設を卒所後の認可入所申請は 15 点加点と定めている。今後も小規模保育は必要と考えているため、加点した結果も含めて経過を見る必要がある。幼稚園も含めた受け皿の検討を進めていく。（保育課長）

1-（2）きょうだい同一園入所について

きょうだい同一園入所について、意見書にも記載の通り、保育時間が延びることや災害時に乳幼児を抱えて二ヶ所の園を回らないといけないなど不安の声が大きい。また、現在の入所審査においては認可別園からの転園の場合のみ加点となるので、一旦負荷が掛かってからでない役に立っていない。意見書の意図としては入所審査の際のみ、上にきょうだいが在園している世帯への配慮として一定金額を差し引く事が可能かについて例を挙げている。このような配慮を頂くことでよりきょうだいが同一園に入園しやすくなり、子への負担も減ると考えている。（保連協会長）

保護者や子への負担については状況十分理解しているが、一定の世帯への配慮のための住民税の減算については、入所審査のみとしても厳しいと思っている。（保育課長）

1 - (4) 小規模保育施設について

小規模保育施設については意見書での述べている通り、施設長不在で運営している園が市内にあり、保護者の不安の声もあった。現在は解消されているが、若く経験の浅い施設長であったりとまだまだ不安の声は残っている。市で現状行っている小規模保育の運営に関する監督についての具体例を伺いたい。（保連協会長）

保育課主幹と地域子育て支援推進員と共に、市内の家庭的や小規模保育室、認証保育所を巡回して、保育の様子を見てヒアリングや必要があれば指摘するなどしている。地域子育て支援推進員は園長や副園長を経験して定年退職した保育士が担当している。

また、小規模保育事業は新しい施設が多いため、主幹や推進員も同席して懇談会のような会議の場を設け、情報共有や悩みについて助言し合うなどして解決を図っている。（保育課主幹）

1 - (7) 延長保育料の細分化について

頂いた回答を基に、保連協内でも細分化とともに値上げに対する許容についてディスカッションしていきたいと考えている。（保連協会長）

1 - (9) 延長保育料免除について

意見書の通り、延長保育料免除については実際に発生した件数の補助を頂くことで委託、私立園などの負担軽減になると考えているが、頂いた回答によると、一部電車遅延による延長利用に関わらない利用者からの減免要求があるとのこと。この件について実際の状況等を含めて園長先生よりお話しを伺いたい。（保連協会長）

電車遅延に関しては、携帯の画面を見せて、減免可能かどうかの申し立てもあるが、現状は当日発行の遅延証明書のみでの対応としている。電車は減免されるもののバスでは減免されないということもあり、不公平であるという声もある。（けやき保育園長）

1 - (11) 0歳児保育の一時的廃止について

0歳児保育の一時的廃止について、昨年度の懇談会では5年計画で考えていると伺っているが、詳しい状況を伺いたい。（保連協会長）

現在、西原、ひばりが丘、やぎさわの3園で暫定的に0歳受け入れ停止をしている。

審議会でも育休取得のあり方とともに0歳児保育についての意見は頂いている。現状では西東京市子育て子育てわいわいプランでの計画に沿って平成31年までの5年をひとつの目安としての暫定と考えており、その時点での市内の待機児童、年齢構成を確認して今後の計画をする予定であり、他の施設への展開は現在検討していない。

現状の待機児童のほとんどが1歳児のため、現在の暫定3園のみで考えて、経過を見たいと思っている。（子育て支援部長）

2 - (2) セキュリティについて

意見書の通り、他自治体で活用しているような既存オートロックの仕組みの中で対応可否について伺いたい。（保連協会長）

解除番号の通知については、父母、祖父母などどの範囲まで番号を教えるのかなどまだ課題もあるが、今後の運用方法について検討していきたい。（保育課長）

2 - (3) 駐輪場の整備について

既に駐輪場を整備して頂いているが、雨の日は水浸しになってしまい、利用時に滑るなど危険な箇所もある。雨水升を整備して頂いたが、現状は完全に改善されている状況ではないため、定期的なメンテナンスをして頂きたい。（事務局）

雨水升のメンテナンスは、定期的というよりも随時となる。現状を見て改善していきたい。（保育課係長）

3ー（2）民営化について

意見書の回答に頂いた、民営化の効果が減少している原因について伺いたい。（保連協会長）

公設民営園でも保育士の待遇改善を行ったため、委託時初年度は効果があるものの、次年度以降を考えると減少がある。（事業調整係長）

4. 質疑応答



◆保育料に関して、在園のきょうだいがいると第二子、第三子で保育料が減免されているが、うちの場合は上が高校生、下が保育園と年が離れているため第二子でも第一子保育料が適用となっている。また、4人兄弟だとしても、年が離れていると減免されない。不公平では？（ひがし保育園保護者）

国の制度としては未就学児が何人いるかで減免するというルールとなっているが、昨年国の制度改訂があり、所得の階層が一定の層に該当すると上が高校生でも減免対象となる場合もある。利用者階層としてはD1 - D5階層の一部がそれに当たる。（保育課係長）

国の制度としては認識したが、ぜひ今後その世帯の第何子かで適用してもらえるよう、市でも努力頂ければありがたい。（ひがし保育園保護者）

◆自分自身子供達が別園となり、掛け持ちの経験があり、兄弟同一園を強く希望している。特に災害時の不安が本当に大きい。また、これも実際の経験だが、A園に第二子を入りたい保護者とB園に第二子を入りたい自分の希望が、実際はその保護者はB園に第二子が、自分の子はA園に入所が決定したと、結果がクロスしてしまった事がある。審査の際、こういった状況を少しだけ考えて頂き、同一園に下の子が入れるような配慮をしてもらいたかったと当時思った。（柳橋保育園保護者）

同一園の問題は切実であると認識しており、審査の際は個別に丁寧に対応している。第一希望では別園になるが、第三希望であれば同一園になれるがどうしますか、といった事も保護者に連絡して対応もしている。（保育課係長）

別園になって困ったという話はよく聞いたが、保育課の丁寧な対応で揃うようになってきている。別園に迎えにくい保護者は必死。やはり同一園が望ましい。園児の安心感にもつながる。雨や雪の日のお迎えもあり本当に大変だと思う。（ひがし保育園長）

兄弟の安心感、お互いの寄り添いもみられる。私からも保育課の努力に期待する。（すみよし保育園長）

◆待機児童対策として認可保育園の増設を希望する。小規模保育を増設していることについて、連携園として幼稚園も含めて伺ったが、どのような連携をしていく予定か伺いたい。（柳橋保育園保護者）

小規模から幼稚園への流れも出来るようにと検討している。預かり保育を幼稚園もしているが、フルタイムの方を預かれるほどの状況にまではなっていないと考えている。必要な補助金も含めて来期に向けて検討している。長期休暇時も開園して欲しいなどの要望も幼稚園にしていこうと考えている。一対一の連携ではなく一対複数で総合的にフォローしたい。（子育て支援部長）

予算をかけずにということもあったが、子どもへの投資としてかけるところはかける方向で進めて欲しい。（柳橋保育園保護者）

もちろんかけるところにはかけていきたい。効果的に進めていきたいという意図である。（子育て支援部長）

西東京市では 老人福祉に54億、児童福祉に129億かけており、老人福祉はこの10年で大きく高齢人口が増えたものの、決算はあまり増えていない。児童は増えていないなかで児童福祉は倍増させている。そこは見て頂きたい。（事業調整係長）

◆延長開始時間について、18:15から15分短縮されたことを不満と思っている。全家庭にアンケートを取って進めてくれなかったのか。戻すことや、時間を区切るなどの対応を検討してもらえないか？（ほうやちょう保育園保護者）

国の11時間開所にあわせて変更した。朝7時からの利用者も数多くあり、7:00-18:00から、7:15-18:15にした場合でも課題がある。（保育課長）

1 時間 300 円の単価が以前から変わっていないので、それがよいのかについても併せて検討をしつつ 15 分刻みについても考えていきたい。(子育て支援部長)

朝の 7 時開所待ちで保育園前に多数待っている状況だが、実施後は今まで 18:15 迎えだった方が、ほとんど 18 時に間に合うようにきているように見える。(西原保育園長)

20 時まで開所しているので延長料金は 2 回カウントされる。(300 円/時間 × 2) 15 分の為に負担が増えた家庭もあるが、園には直接的なクレームは受けていない。理解をしてくれていると思っている。7 時からの利用も多く、遅延証明を持ってくる人が増えた。(向台保育園長)

◆兄弟児の同一園について、0 歳児受け入れが廃止されて同一園に入所が出来なかった。三人子どもがいるが、9 ヶ月の子どもを背負って自転車乗せて雨に濡れて別園に迎えに行くなどもあった。0 歳児の負担が大きいので、0 歳児の預かり復活を望む。(やぎさわ保育園保護者)

◆認可外保育園が市内にたくさんあるが、認可外が認可になるという施設がある。家庭的保育(すまいる保育室)と契約入所したが小規模認可になった。保育園の入所希望に同園を書けば、継続して入れるといていたが落ちた。(ほうやちよう保育園保護者)

認可保育園入所については就労しているなどの基準による保育の認定が必要となる。基本は同園に入れるように取り扱ったはず。認証から認可に移行する際は、預けている方が市外在住とか、勤務していないというケースは入れない場合もある。(子育て支援部長)

◆保育ママの場合、運営者が倒れたりなどしてしまった場合、運営が出来なくなる。替えが居ない状況で、体に気をつけて進めていると思う。ただ、情報交換、懇談会時には誰が園児を見ているのだろうか？また、代替が居ない方へのサポート等はされているか。(柳橋保育園保護者)

小規模の施設長会議はお昼寝時間に実施した。また施設長は保育にあたる配置数にはカウントされていない職員である。また、家庭的保育事業は、長年の経過があり、施設長同士が情報交換できる場がすでにできている。他に、研修については、公立保育園が主催している研修で、市の市民会館で 18:00 以降に開催するものもあり、そういった市内の研修にもお誘いしている。少人数の施設フォローは、連携施設との連携強化が出来るかを検討したい。既存施設でも園児に応じた職員数で運営しているので、すぐに応援にはいけないので慎重に検討したい。(保育課主幹)

◆延長保育時間について、現状変更予定はないとのことだが、数年運用してからまたアンケート等を取って変更について検討して欲しい。(ひがし保育園保護者)

終わりに・・・

- ・保護者会が保連協から退会した園なので、この機会に保連協(保護者)の意見を聞くことができ、貴重な機会となっている。(なかまち保育園長)
- ・さまざまな園の保護者のさまざまな意見が聞けて参考になる。(ひばりが丘保育園長)
- ・今後の参考としていきたい。(はこべら保育園長)
- ・ほかの園の状況、保護者の思いは聞く機会が少ないので、今後の運営に役立てたい。(こまどり保育園長)
- ・延長保育の 18:15 の 15 分短縮では負担もあり仕事を変えた方もいた。19 時以降の利用もあるので難しい問題であると思う。駐車場、駐輪場の問題は共通の課題があると認識した。(芝久保保育園長)
- ・さまざまな問題を直接伺えて良かった。まずはお子さん、自園のみなさんの笑顔が出来るようがんばりたい。(やぎさわ保育園長)
- ・直接の意見は貴重だと考えている。保育の質の充実を考えているので引き続き協力をお願いする。(保育課長)